



金沢市立鳴和中学校 学校だより

い ら か

令和8年1月7日〈新年1月号〉

〒920-0804

金沢市鳴和2丁目10番60号

TEL 076-252-5228



新年あけましておめでとうございます！

生徒の皆さん、保護者、地域の皆様、新年あけましておめでとうございます。今年もどうぞよろしくお願いいたします。また、保護者、地域の皆様におかれましては、旧年中は、本校の教育活動に、ご理解とたくさんのご協力・ご支援をいただき、誠にありがとうございました。改めて心より感謝申し上げます。



今年は、十干の「丙（ひのえ）」と十二支の「午（うま）」が組み合わさった「丙午（ひのえ・うま）」です。丙午（ひのえ）は、十干の3番目で「火」の要素を持ち、太陽や明るさ、生命のエネルギーを表すとされています。また午（うま）は、古くから人間とともに生きてきた動物です。駿足を持ち、独立心が強く、また人を助けてくれる存在でもあります。そのため、丙午（ひのえうま）の年は、「勢いとエネルギーに満ちて、活動的になる」年になると考えられています。

令和8年（2026年）も、今年の干支である午（うま）のように、子供たちの勢いとエネルギー溢れる教育活動を進めていくことができるよう、教職員力を合わせて、駆け抜けていきたいと思ひます。何卒、よろしくお願いいたします。

1.01 と 0.99 の法則—微差が大差となる

本日の始業式で、「1.01 と 0.99 の法則」を紹介しました。毎日、少しずつ努力することを 1.01 という数字で表し、これを 365 乗すると、一年後には 37.78 になります。これに対し、毎日、少しだけの努力を怠る（おこたる）ことを 0.99 という数字に置き換え、365 乗すると、一年後には 0.03 にまで減少してしまいます。1.01 の 365 乗と 0.99 の 365 乗……。スタートはそれほど変わらないのに、毎日、ほんのわずかでも上積みをしている人と、そうでない人とでは大差がついてしまうというわけです。一年後、今の 37.78 倍の自分になるか、それとも、0.03 倍の自分になるのかは、わずかな努力の積み重ねがあるかないかで決まるということです。

校内「書き初め」展 『不言実行』『新たな目標』『旅立ちの春』

冬休み中に、生徒の皆さんが心を込めて書いた「書き初め」が教室に展示され、どのクラスも新年にふさわしい雰囲気となりました。また、今年も金沢市内の多くの神社で左義長が予定されています。都合がつけば、伝統文化に触れるよい機会として書き初めを持参して参加するのもよいですね。



「生徒集金のお知らせ」配付方法の変更につきまして

学校評価アンケートでいただいたご意見をもとに、「生徒集金のお知らせ」の配付を、全学年において3学期より tetoru にて配信させていただいています。tetoru に登録されていないご家庭につきましては、これまでどおり紙媒体でのお知らせ配付となります。ご理解とご協力をいただきますよう、何卒よろしくお願いいたします。